

## 2022年度 国際公式プムセ競技大会 派遣選考基準

2021年12月17日  
強化本部

### 1、派遣対象大会（2021年10月時点）

アジア競技大会（2022年 9月、中国・杭州にて開催予定）

アジアプムセ選手権大会（2022年 5月、韓国にて開催予定）

第3回アジアユースゲームズ（2022年12月 中国・シャントウ開催予定）

その他、今後開催が発表される国際公式大会およびオンラインでの国際公式大会で、代表選考会を開催することが困難な場合は本選考基準を適用することとする。

### 2、選考基準大会

規定プムセ カデット・ジュニアの男女およびフリースタイル Under17の男女については「2021年度（第6回）全国少年少女選抜大会」とする。

上記以外の規定プムセの男女およびフリースタイル Over17の男女については「2021年度（第15回）全日本プムセ選手権大会」とする。

### 3、2022年度国際公式プムセ競技大会派遣選考について、以下の選考基準にて実施する。

- (1) 選考対象は、個人種目について全カテゴリーを対象とする。  
また規定プムセに関してペア種目も対象とする。

	男子個人	女子個人
規定プムセ	カデット ジュニア Under 30 Under 40 Under 50 Under 60 Under 65 Over 65	カデット ジュニア Under 30 Under 40 Under 50 Under 60 Under 65 Over 65
フリースタイルプムセ	Under17 OVER17	Under17 OVER17

- (2) 強化本部において、後記（4）で定める選考対象選手の中から、後記（5）で定める選考基準に従って、派遣選手を選出する。ただし、後記（5）で定める選考基準に満たない場合には、当該カテゴリーの選手派遣を行わないものとする。
- (3) 前記（2）にて選出された選手につき、強化本部から理事会へ上程し、理事会にて承認後、当該選手が代表選手となる。
- (4) 選考対象選手  
2022年1月1日～12月31日の年齢区分による対象カテゴリーに出場した選手のうち以下の項目を満たす選手を選考対象選手とする。

ア 選考基準大会に出場した選手

イ 下記の要件を満たす者

- ① 当協会に個人会員として登録されている者
- ② 日本国籍を有する者（2022年3月末時点）
- ③ 国際大会でメダル獲得または賞状を授けられる全日本テコンドー協会の期待に応えられる競技者を持つ者
- ④ 全日本テコンドー協会の定める定款、倫理規程その他諸規程を遵守していること
- ⑤ 大会に出場できないスポーツ障害・疾病がない者
- ⑥ 全日本テコンドー協会の強化計画に沿って活動できる者
- ⑦ NF強化指定選手として選考される意志を有する者
- ⑧ 国技院が定める段位または品位取得者

(5) 選考基準

ア 個人競技

2022年世界選手権代表選考会（二次選考）出場者の中から、代表選考会の結果及び強化合宿での内容等を踏まえ、派遣人数や条件を考慮して、強化本部が選考する。

イ ペア競技

前記で選考された男女個人または、それに準ずる成績の者の中で、ペア編成により上位入賞を目指せると強化本部が判断した者。

個人カテゴリで選出された選手、または選考には漏れたがそれに準ずる成績の者（ペアにおいては個人の技量よりもシンクロ率などの要素もあるため、単純な優劣よりも地域や所属も加味し強化できる環境の者を選考対象とした）の中で上位入賞を目指せると強化本部が判断した者とする。

ウ 複合種目が設定された場合について

単一の選手が予選と決勝で異なる種目を試技する競技設定（例：予選では規定プムセのみで得点を決定し、決勝へ進んだ8名の選手は規定プムセ＋フリースタイルプムセを試技して総得点を競う）となった場合は「2021年度（第15回）全日本プムセ選手権大会、2021年度（第6回）全国少女選抜大会」におけるそれぞれの種目の上位入賞者の中から、予選通過を重視して選考する。

エ プムセ選手の出場枠に制限がある場合の派遣について

JOC等が示す総合大会への競技別の派遣人数割当てによって、キョルギ・プムセを合わせた出場人数が決定され、プムセ種目が若干名となった場合は、2021年のオンライン大会を含めた活動状況、結果等を参考に選出する。規定プムセ、フリースタイルの別についてもその大会要項に照らし、強化本部にて判断し選出する。

以上